



県北教育事務所 社会教育だより

つながれ KENPOKU

令和6年9月12日 発行

今回は、福島市学習センター訪問の第3弾として中央学習センターと三河台学習センターの取組についてお伝えします。

福島市学習センター訪問

7月26日 中央学習センター 7月31日 三河台学習センター

【中央学習センター】

福島市内学習センターの中央館として



中央学習センターは、中央東地区の地区館としてだけでなく、福島市内にある15の学習センター及び6つの分館に対して事業の企画・運営や施設の管理運営についての指導・連絡調整を行う中央館です。また、福島市全域から参加募集を行う事業を実施し、市の生涯学習、社会教育の活性化を図っています。

市民のライフステージに合わせた各種事業を開催しており、20代・30代の青年教育事業である「ヤングカレッジ中央」は、参加者が主体的に企画・運営を行っています。参加者は分担して係活動を行い、自分の役割を自覚しながら、責任をもった各種活動を実践しています。

【三河台学習センター】

気軽に足を運びたくなるような施設を目指して



三河台学習センターでは、多様化する住民ニーズに対応した講座の提供と、地域住民が気軽に集える、日常生活に直結した生涯学習の振興を目指しています。

昨年4月には、新しい施設や設備を兼ね備えた新館としてオープンし、他地区からの利用者も増えています。

小学4年生～6年生を対象とした「少年教育事業」では、年間12回の様々な活動や体験を実施しています。大学の先生が講師として開催する教室もあり、研究室のゼミ生と一緒に活動します。心身の育成とリーダーとしての知識と技術の習得を目指す事業です。

今年度は、5つの福島市学習センターを訪問しました。それぞれのセンターでの取組をお聞かせいただき、日頃、職員の皆様が、利用者の皆様のために、地域の皆様のために頑張っておられる様子を知ることができました。各学習センターのほんの一部を紹介させていただきましたが、この他にも学習センターでは楽しい事業をたくさん開催しています。ぜひ、足を運んでみてください。